

平成26年行政事業レビューシート

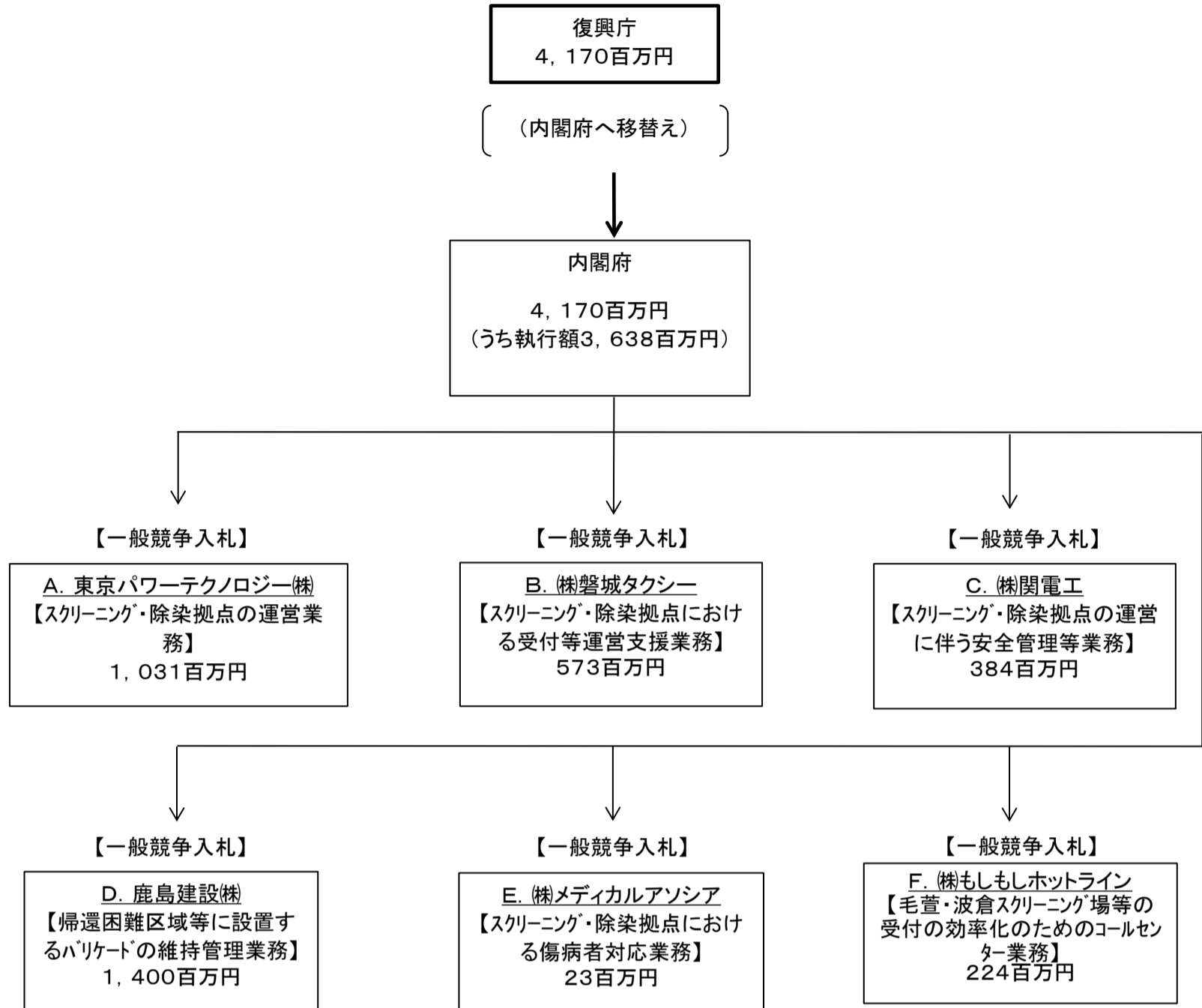
(復興庁)

事業名	帰還困難区域の入域管理・被ばく管理等		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～(未定)		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業により、①帰還困難区域の住民のふるさとへの帰還意識の維持、②当該区域内の財物やインフラ等の最低限の維持管理、③他地域も便益を受けることのできる広域的な公共施設等の復旧等を促進することができる。この結果、帰還困難区域の将来の復旧復興を円滑に行える環境が整備されるだけでなく、(帰還困難区域内の広域的な公共施設の復旧等により)他地域の復旧復興の促進にもつながる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	帰還困難区域の境界にバリケードを設置するとともに、バリケードの維持管理などを行うことで、帰還困難区域の入域管理を行う。 また、①帰還困難区域内の住宅、田畑、墓地等の維持管理などのために入域を希望する住民、②当該区域内の(広域的な)公共施設等の復旧や防災・防犯対策のために入域を希望する復旧作業員、消防・警察等について、安全な入域を確保するために必要な被ばく管理等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	4,170	4,681	4,645	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	-	-	4,170	4,681	4,645		
	執行額	-	-	3,638	-	-		
執行率(%)	-	-	87.2%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	①帰還困難区域の住民のふるさとへの帰還意識の維持 ②帰還困難区域内の財物等の最低限の維持管理		成果実績	-	-	-	-	-
	(政府の決定に基づいて、帰還困難区域の入域管理を着実に進めるため、定量的な成果目標及び成果実績の算出は困難。)		目標値	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	帰還困難区域へ立ち入った住民数		活動実績	人	126,049	105,020	54,490	-
			当初見込み	-	-	-	-	-
	事業実施日数(うち一時立入り実施日数)		活動実績	日	365(202)	366(140)	365(208)	-
		当初見込み	365(202)	366(140)	365(208)	365(220)	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	事業実施日1日当たりの執行額 (執行額/事業実施日数)		単位 当たり コスト	百万円	-	-	10	-
			計算式	/	-	-	3,638(百万円) /365(日)	-
平成26・27年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	スクリーニング・除染拠点の運営等業務	1,325	1,183	・スクリーニング要員の配置の効率化等による減 826百万円→745百万円(△81百万円)				
	スクリーニング・除染拠点における受付等運営支援業務	680	894	・スクリーニング・除染拠点に配備する防護装備の調達効率化等による減 257百万円→139百万円(△118百万円)				
	スクリーニング・除染拠点の運営に伴う安全管理等業務	465	340	・バリケード設置に係る備品の調達の効率化等による減 156百万円→76百万円(△80百万円)				
	帰還困難区域等に設置するバリケードの維持管理業務	1,928	1,889					
	毛萱・波倉スクリーニング場等における受付の効率化のためのコールセンター業務	255	212					
	スクリーニング除染拠点における傷病者対応業務	27	27					
	帰還困難区域の入域管理に関する調査・研究業務	-	100					
計	4,681	4,645						

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	帰還困難区域は放射線量が高いため、厳格な入域管理と被ばく管理等が実施されることになっており(平成23年12月26日原子力災害対策本部決定)、当該区域からの退出にあたっては、スクリーニングを実施することとなっている。 また、当該区域のインフラ復旧・復興等は福島再生基本方針にも明記され、福島県からの要望も強い。 さらに、当該区域は政府の決定により入域制限をしていることから、その入域管理等は国が実施すべきものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に当たっては、すべて一般競争入札を実施し、競争性、妥当性を確保している。 また、支出先による事業実施に当たり、当該事業に要する経費の合理性等について精査し、帰還困難区域の入域管理・被ばく管理に真に必要なもののみ用途を限定することで、事業の効率性の確保に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	本事業の着実な実施により、地元の意向を受け、立入日数の増加などにつながり、①帰還困難区域の住民のふるさとへの帰還意識の維持、②当該区域内の財物やインフラ等の最低限の維持管理、③他地域も便益を受けることのできる広域的な公共施設等の復旧等を促進することができた。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	帰還困難区域は放射線量が高いため、厳格な入域管理と被ばく管理等が実施されることになっており(平成23年12月26日原子力災害対策本部決定)、当該区域からの退出にあたっては、スクリーニングを実施することとなっている。 また、当該区域のインフラ復旧・復興等については福島再生基本方針にも明記され、福島県から強く要望を受けていることに加え、当該区域への一時立入りの継続的な実施などについては、対象となる市町村からの要望も多い。 さらに、当該区域は政府の決定により入域制限をしていることから、その入域管理等は国が実施すべきものである。				
	改善の方向性	事業を実施するにあたっては、既存のスクリーニング拠点施設・設備及びバリケードを有効に活用し、経費支出の合理性を精査するなど事業の効率性を図りながら、効率的・効果的な予算の執行に努める。				
外部有識者の所見						
帰還困難区域の適切な入域管理等を行うものであり、必要性の高い事業である。引き続き執行実績を踏まえた適切な予算規模としていくこと。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善の一	帰還困難区域の入域管理の観点から復興に資する必要性の高い事業であるが、平成26年度の契約実績を踏まえた上で要求し、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	事業の目的であるバリケードの維持管理等による帰還困難区域の入域管理について、平成26年度の契約実績を踏まえた上で、引き続き効率的・効果的な執行に努めていく。(前年度比▲24百万円)					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	—	平成24年	25新-7	平成25年	25新-005

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているかについて補足
 する)(単位:百万円)



A.東京パワーテクノロジー株式会社			E.株式会社メディカルアソシア		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	スクリーニング・除染拠点の設備工事、機器校正、備品費等	713	人件費	スクリーニング・除染拠点における傷病者対応業務	13
人件費	スクリーニング・除染拠点の運営業務	219	事業費	旅費、車両リース経費、宿泊費等	8
その他	一般管理費、消費税	99	その他	一般管理費、消費税	2
計		1,031	計		23
B.株式会社磐城タクシー			F.株式会社もしもしホットライン		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	巡回バス等車両運行業務、旅費、車両牽引費等	307	事業費	コールセンター業務、コールセンター借料、郵送料等	133
人件費	スクリーニング・除染拠点における受付・案内業務	210	人件費	毛萱・波倉スクリーニング場等の受付の効率化のためのコールセンター業務	61
その他	一般管理費、消費税	56	その他	一般管理費、消費税	30
計		573	計		224
C.株式会社関電工			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	通信機器等備品費、防護装備経費、機器管理経費等	337			
その他	一般管理費、消費税	36			
人件費	スクリーニング・除染拠点運営に伴う安全管理等業務	11			
計		384	計		0
D.鹿島建設株式会社			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	H型鋼、開閉式バリケード備品費、バリケード維持管理経費、放射線管理経費等	1,172			
その他	一般管理費、消費税	141			
人件費	帰還困難区域等に設置するバリケードの維持管理業務	87			
計		1,400	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京パワーテクノロジー (株)	スクリーニング・除染拠点の運営等業務	1,031	2	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)磐城タクシー	スクリーニング・除染拠点における受付等運営支援業務	573	2	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)関電工	スクリーニング・除染拠点運営に伴う安全管理等業務	384	2	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿島建設(株)	帰還困難区域等に設置するバリアードの維持管理業務	1,400	1	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メディカルアソシア	スクリーニング・除染拠点における傷病者対応業務	23	1	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)もしもしホットライン	毛萱・波倉スクリーニング場等の受付の効率化のためのコールセンター業務	224	3	—